

闘虎

No. 70 Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
令和5年 春季号



© SACHIKO HOTAKA

石井亜海が亜細亞で純真の優勝！

2023アジア選手権大会

4月9～14日、カザフスタン・アスタナにおいて、「アジアレスリング選手権大会」が行われた。68kg級日本代表・石井亜海（OSA-安部学院高一育英大3年）は、アジア選手権は初出場だが、高校2年の時、アジアカデット選手権で優勝した地は、このカザフスタンであり、その優勝は、自身初の国際大会金メダル。それから3年後、シニアの日本代表となった石井は、2回戦から登場。地元カザフスタンの選手をテクニカルフォールで破る幸先のよいスタートを切ると、準決勝は、キルギスの選手に6-2で競り勝ち、決勝はインドの選手にフォール勝ち。確実に力を付けているところを示し、その翌月は、UWW認定世界ランキングにおいて、女子68kg級で堂々の1位となり、名実とも世界のトップレスラーに成長した。

◆発行/群馬県レスリング協会会長 金子博 ◆編集/群馬県レスリング協会広報委員会

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第70回

西邑楽高校



多くの偉大な王者輩出！
今後も伝統を継承する！

3年 主将 横尾 瑠衣

西邑楽高校レスリング部は、インターハイ全員出場を目標に、顧問の針谷豊先生のもと、三年生一名、二年生一名、一年生一名の女子三名で練習に励んでいます。針谷先生の母校でもある西邑楽高校レスリング部は、昭和五十五年に発足し、今年で創部四十三年を迎えます。その間、インターハイチャンピオンの針谷先生をはじめ、オリンピック2度出場の川合達夫先輩、アジア選手権優勝の木村安里先輩など、たくさん偉大な選手が輩出されています。

練習では、針谷先生自ら加わってくださり、打ち込みやスパarringの中で課題点をすぐに指導してくださいます。また、マンツーマンで一人ひとりにアドバイスしてくださいます。部員が少ないからこその特権だと思えます。休日は、他チームとの合同練習に参加し、日々刺激のある練習ができています。指導してくださる先生方、支え応援してくれる家族、練習相手である仲間、レスリングができる環境。全てのことに対して、感謝の気持ちを持ち、今後も一生懸命練習に取り組み、西邑楽高校レスリング部の伝統を継承していきたいと思えます。

SCHEDULE

■全国中学生レスリング選手権大会
6月10日(土)～11日(日)
アダストリアみとアリーナ

■全日本選抜レスリング選手権大会
6月15日(木)～18日(日)
東京体育館

■全国少年少女レスリング選手権大会
7月28日(金)～30日(日)
四日市市総合体育館

■インターハイ
7月27日(木)～30日(日)
真駒内セキスイハイムアイスアリーナ

■群馬県スポーツ少年団大会
8月6日(日)
千代田町総合体育館



石川 敏也さん(館林市・50歳)

レスラーの思い出

□この写真は、今は石川県知事の馳浩さんの結婚式で一枚で、森田武雄先生(写真左)が所有していた写真です。長州力先輩(以下敬称略)を語らせれば、私の右に出る者はいません。長州力は、馳浩さんの専修大学の先輩です。私は、長州力が新軍団を結成したときからの大ファンで、それで西邑楽高校でレスリングを始めました。レスリングは想像以上に苦しく厳しく、館林高校と合同練習をやれば、金子博先生と高田裕司先生がヒートアップし、試合さながらになりました。専修大学へ進んだのは、もちろん、長州力の出身大学だからです。私が在学時代、数年の時の4年の秋山準先輩とスパarringをしていましたが、秋山先輩は、長州力に全く歯が立ちませんでした。中西学先輩も圧倒されたそうです。強かったですね、長州力は！

西原丈陽が全国選抜で銅メダル獲得!

全国高校選抜

3月27〜29日、新潟東総合スポーツセンターにおいて「全国高校選抜レスリング大会」が行われた。2月の関東選抜で出場権を獲得した群馬県の精鋭選手が臨んだが、全国の壁は厚く険しい。その中で、西原丈陽（明和クラブ―館高1年）が、中国ブロック、北海道ブロック、東北ブロックの代表選手を破り、ベスト8進出。その準々決勝では、北信ブロックの選手を3―2で際どく破り、ベスト4進出。準決勝では、団体優勝の日体柏の選手に敗れたが、群馬



練習の取り組み方も思慮深くなった西原丈陽!

県勢唯一のメダル獲得を果たした。

◇80kg級 ③西原丈陽（館林）

萩本理愛と柴木丈が 最優秀選手賞を受賞!

館林市民春季大会

5月27日、城沼総合体育館において「館林市民春季レスリング大会」が行われた。最も秀逸な優勝を飾った選手に贈られるMVPは、中学生の部で萩本理愛（邑楽）、小学生の部では柴木丈（上州）が獲得した。優勝者は次のとおり。

- 【中学生】◇38kg級 関田凌一（上州） ◇42kg級 稲田丞真（明和） ◇47kg級 萩本理愛（邑楽） ◇53kg級 佐藤陽（OSA） ◇59kg級 笛木一落（伊勢崎） ◇66kg級 構信之介（OSA） ◇73kg級 和田三志郎（館林）
- 【小学5〜6年】◇30kg級 天笠聖（OSA） ◇34kg級 新井絆来（大間々） ◇39kg級 西原大晴（明和） ◇45kg級 苅谷萌々香（OSA） ◇51kg級 柴木丈（上州） ◇51kg級 関田穂花（上州） ◇51kg級 3〜4年 村岡快人（OSA） ◇24kg級 村岡快人（OSA） ◇28kg級 天田椎菜（大間々） ◇33kg級 赤坂颯真（OSA）



MVPを獲得した萩本理愛（左）と柴木丈

戦力増強の大泉高校! 打倒館高名乗り上げ!

群馬県高校総体

5月12〜14日、城沼総合体育館において「第58回群馬県高校総体レスリング競技会」が行われた。団体戦の順位と個人戦優勝者は、次のとおり。

- ◇39kg級 笛木紬衣（伊勢崎） ◇42kg級 武藤聖汰（館林）
- 【1〜2年】◇20kg級 小久保朱夏（明和） ◇24kg級 天田杏琉（大間々） ◇28kg級 杉江大治朗（館林） ◇28kg級 赤坂来輝（OSA）
- 【幼年】◇21kg級 戸ヶ崎碧大（上州） ◇21kg級 森田鳳牙（上州）

なでしこGUNMAの レスクイーン



大泉高校 谷津 七海さん（1年）

私がレスリングを始めたきっかけは、経験者の父（正弘さん・西邑楽OB）とおじいちゃん（正行さん・館高OB）の影響で、幼稚園の年長くらいから気付いたときにはマットにあがっていました。当時は何も考えずやっていたと思いますが、だんだん、練習の苦しさを感じるようになってきました。でも、遠征などで仲間と一緒に過ごす時間が楽しくて、今日まで来ています。大泉高校は部員が増え、団体戦でインターハイに出ることを目標に、部員一丸となって盛り上がりつつあるので、私はそれをサポートしつつ、個人戦で優勝できるように、頑張りたいです。

HERO'S IN GUNMA



西原 丈陽 選手 （館林高校）

全国選抜前は、上村朋也先輩や山田康介先輩が、高校卒業して大学へ行く直前まで練習に出ただけ、自分たちに胸を貸してくれたので、先輩方の思いに応えるためにも、なんとしても勝ちたい、その一心でした。その結果、第3位入賞を果たせたことはよかったです。これからは、自己ベストの更新を目指し、インターハイ、国体で頑張りたいと思います。

- 【団体戦】①館林 ②大泉 ③市太田 ③富実
- 【個人戦フリー】◇51kg級 川島倫太郎（大泉） ◇55kg級 山口想成（館林） ◇60kg級 小林楓篤（館林） ◇65kg級 川端健太（館林） ◇71kg級 加藤航平（市太田） ◇80kg級 和田晃二郎（館林） ◇92kg級 石井裕樹（富実） ◇125kg級 上西エリキ（館林）
- 【個人戦グレコローマン】◇51kg級 樋澤空（館林） ◇55kg級 山口想成（館林） ◇60kg級 石塚佑慎（市太田） ◇65kg級 坂上翔琉（館林） ◇71kg級 加藤航平（市太田） ◇80kg級 バナヤドマイクデニエルトレス（富実） ◇92kg級 石井裕樹（富実） ◇125kg級 田中礼文（前西）

苅谷萌々香金メダル! 新鋭・小林桂士もV!

東日本少年少女大会

5月14日、足利市民体育館において「第27回東日本少年少女レスリング選手権大会」が行われた。毎年、東京都町田市で開催されていた東日本選手権は、今年度から「持ち回り」となり、近隣の足利市で開催。強豪クラブ多数参戦の中、県内選手からは、昨年度、全少優勝の苅谷萌々香（OSA）と小林桂士（PALAISTRA）の2名が優勝したほか、多数の入賞者が出た。県内選手優勝者は次のとおり。

- ◇中量級 原口真優（市太田）
- ◇重量級 村田悠芽夏（西邑楽）

原田渚JOC杯獲得! 櫻井と清岡は優秀賞!

クイーンズカップ

4月8〜9日、東京武道館において「ジュニアクイーンズカップレスリング選手権大会」が行われた。育英大学勢の活躍が目覚しく、5選手が優勝、その中で、原田渚（育英大）が「ジュニアオリンピックカップ」を、清岡もえ（同）と櫻井つぐみ（同）は「優秀選手賞」を獲得した。県内出身選手では、藤倉優花（邑楽jr―安部学院―育英大2年）が唯一、優勝を果たした。入賞者は次のとおり。

- 【女子5・6年】◇45kg級 苅谷萌々香（OSA）
- 【小学3・4年】◇33kg級 小林桂士（PALAISTRA）
- 【U23】◇50kg級 ③櫻井はなの（育英大） ◇55kg級 ②五味音々（育英大） ◇57kg級 ①櫻井つぐみ（育英大） ◇62kg級 ③横尾真衣（大東文化大） ◇65kg級 ③平井かえで（育英大）
- 【U20】◇53kg級 ①原田渚（育英大） ◇55kg級 ①清岡もえ（育英大） ◇57kg級 ①新井一花（育英大） ◇62kg級 ③元木日陽里（育英大） ◇72kg級 ①藤倉優花（育英大）
- 【U17】◇69kg級 ③村田悠芽夏（西邑楽）

長谷川虎次郎が優勝! 五味虹登はV2達成!

JOC全日本ジュニア選手権

4月15〜16日、横浜武道館において「ジュニアオリンピックカップ全日本ジュニアレスリング選手権大会」が行われた。五味虹登は昨年に続き2連覇達成した。入賞者は次のとおり。

- 【U20フリー】◇97kg級 ②佐々木優太（育英大）
- 【U20グレコローマン】◇60kg級 ①五味虹登（育英大） ③森岡一護（同） ◇63kg級 ②岩田昇也（育英大） ③三谷剛大（同） ◇67kg級 ①長谷川虎次郎（育英大） ◇72kg級 ②本名一晟（育英大）
- 【U17フリー】◇71kg級 ③加藤航平（市太田）
- 【U17グレコローマン】◇110kg級 ③田中礼文（前西）

和田三志郎着実成長! 悔しい僅差のV逃し!

佐倉市長杯中学生大会

5月3日、佐倉市民体育館において「第41回佐倉市長杯中学生レスリング選手権大会」が行われた。全中前最後の対外試合のため、関東中の強豪選手が参戦。県内選手入賞者は、2名に留まった。

- ◇75kg級 ②和田三志郎（館林）
- ◇85kg級 ③今井善（千代田）